

北九州市オレンジプラン(令和6年改訂) 計画期間:令和6年度~8年度 施策の方向性(目指すべきゴール)

『認知症にやさしいまちづくり』

基本的施策

主な取組み

アウトプット

アウトカム

1 認知症の理解の増進と共生の推進

認知症基本法 第9、14、15、16、23条

- ・認知症理解の促進
- ・地域・企業などの参加促進
- ・認知症本人の社会参加

- 認知症サポーター養成講座の充実
- 認知症にやさしいデザインの普及
- 認知症に関する知識の啓発(認知症月間・認知症にやさしい図書館の実施)
- 本人交流会・ピアサポート活動支援
- 認知症・若年性認知症介護家族交流会の実施
- 認知症カフェの普及啓発、活動支援
- 多様な関係者との連携強化(オレンジミーティング)
- 若年性認知症対策の推進

- ◎認知症サポーター養成者数  
R4末:100,161人→R8:110,000人
- ◎市内の認知症カフェ数  
R4末:29か所→R8:50か所

◎認知症施策推進大綱KPIに(類似の)項目があるもの

2 保健医療・介護サービス提供体制の整備

第18条

- ・ものわすれ外来の拡充
- ・介護人材の資質向上
- ・関係職種の資質向上

- 認知症サポート医の養成・ものわすれ外来の設置
- 認知症疾患医療センターの設置
- 認知症地域支援推進員の配置
- 認知症初期集中支援チームの設置
- 医療・介護従事者向け研修の実施

- ものわすれ外来設置数  
R4:62か所→R8:66か所
- ◎認知症介護実践者等研修修了者数  
R4:284人→R8:425人

3 認知症の人や介護者への相談・支援

第19条

- ・相談機関、制度周知の強化
- ・家族等介護者への支援
- ・相談対応の充実

- 認知症・介護家族コールセンターの運営
- 認知症行方不明者への対応
- 認知症等身元不明者の一時保護
- 介護技法の講演会の実施
- 本人交流会・ピアサポート活動支援(再掲)
- 認知症カフェの普及啓発、活動支援(再掲)
- 若年性認知症対策の推進(再掲)
- 認知症サポート医の養成・ものわすれ外来の設置(再掲)
- 相談体制の充実(再掲)
- 地域包括支援センターの運営(再掲)

- ◎認知症の相談窓口の認知度  
R4:23.9%→R8:32%

4 認知症の予防

第21条

- ・認知症の予防、早期発見、早期診断、早期対応の推進
- ・健康づくり・介護予防の取り組み推進

- 健康づくり・介護予防に関する知識等の普及啓発(再掲)
- 通いの場における健康づくりの強化(再掲)
- 生活習慣病予防・重症化予防のための健康教育の実施(再掲)
- 認知症サポート医の養成・ものわすれ外来の設置(再掲)
- 認知症疾患医療センターの設置(再掲)

- ◎通いの場への参加率  
R4:19.3%→23%
- 後期高齢者健診受診率  
R4:14.06%→23%

認知症に不安を感じる人が減ることで、安心して生活を送ることができる共生社会の実現

「認知症と聞いて、最初に思うことはどのようなことですか」について  
 「家族に迷惑をかけそうで心配である(R4:53.9%)」  
 「認知症になっても自宅で生活を続けられるか心配である(R4:42.2%)」



減少

(出典) 高齢者等実態調査(一般高齢者)

## 北九州市しあわせ長寿プラン 認知症施策推進に関する指標

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R5	目標値 (R8)	出典・目標値設定の考え方
成果指標	認知症と聞いて、家族に迷惑をかけるようで心配である人の割合	53.9%	—	減少	出典：高齢者等実態調査（一般高齢者） 考え方：認知症に不安を感じる人が減ることで、安心して生活を送ることができる共生社会の実現を目指すため
	認知症になっても自宅で生活を続けられるか心配である人の割合	42.2%	—		

### 1 認知症の理解の増進と共生の推進

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R5	目標値 (R8)	出典・目標値設定の考え方
達成目標	認知症サポーター養成者数	100,161人	104,360人	110,000人	出典：実績 考え方：国の認知症施策推進大綱 KPI 1 が 2022 年 1,391 万人→2025 年 1,500 万人と約 1 割増加を目標としているため。
	市内の認知症カフェ数	29 か所	33 か所	50 か所	出典：実績 考え方：国の認知症施策推進大綱 KPI43 が全市町村普及（2021 年末 88.4%）、本市は全区にあるが R5 目標値 50 か所未達成のため。

## 2 保健医療・介護サービス提供体制の整備

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R5	目標値 (R8)	出典・目標値設定の考え方
達成目標	ものわすれ外来設置数	62 か所	64 か所	66 か所	出典：実績 考え方：市内医療機関は毎年4か所減少しているため、毎年1か所増加を目標とする。
	認知症介護実践者等研修修了者数	284 人	312 人	425 人	出典：実績 考え方：研修定員 MAX を目標値とする。

## 3 認知症の人や介護者への相談・支援

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R5	目標値 (R8)	出典・目標値設定の考え方
達成目標	認知症に関する相談窓口の認知度	23.9%	—	32%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：国の認知症施策推進大綱 KPI10 が R1 年 29.2%→1割増加 32%を目標としているため。

## 4 認知症の予防

	項目	計画策定時現状値 (R4)	R5	目標値 (R8)	出典・目標値設定の考え方
達成目標	通いの場に参加した人の割合	19.3%	—	23%	出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 考え方：コロナ禍前（令和元年度）の調査値 23.4%への減少を目指す。
	後期高齢者健診受診率	14.06%	17.47%	23%	出典：福岡県後期高齢者医療広域連合 考え方：福岡県後期高齢者医療データヘルス計画に合わせ、23%とする。

## 認知症サポーターの養成

認知症サポーター（認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」）を養成  
 受講者数 H25 43,998人 ⇒ R6 107,586人(R6.10月末現在)

### 1 概要

認知症について学び、正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」を養成する。平成18年度～実施。

- (1) 認知症サポーター養成講座（基礎編）
- (2) 認知症サポーターステップアップ講座（応用編）

### 2 令和5年度実績

#### (1) 認知症サポーター養成講座受講状況

(単位：人)

	住民	企業	学校	市職員	計
R5	1,470	366	1,958	405	<u>4,199</u>
累計	54,019	21,364	14,736	14,241	104,360

#### (2) 令和5年度ステップアップ講座受講状況

(単位：人)

	住民	企業	学校	市職員	計
R5	272	0	54	0	326
累計	2,278	425	193	643	3,539

### 3 令和6年度 of 取組状況

- ・夏休み期間中に、小学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催。

公開講座 1回

放課後児童クラブ対象講座 27回 小学生受講者人数 1,385人

#### (1) 認知症サポーター養成講座受講状況 (R6.10月末現在)

(単位：人)

	住民	企業	学校	市職員	計
R6	430	203	1,973	257	<u>2,863</u>
累計	54,457	21,897	16,709	14,498	107,586

#### (2) 令和6年度ステップアップ講座受講状況 (R6.10月末現在)

(単位：人)

	住民	企業	学校	市職員	計
R6	135	24	72	28	259
累計	2,413	449	265	671	3,798

## 令和6年度認知症月間実施概要

### 1 事業目的

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の普及啓発を実施している。また、令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、9月21日を「認知症の日」、9月1日から30日までを「認知症月間」と定めている。

本市でも、「認知症月間」にあわせて認知症の正しい理解と知識の普及・啓発を重点的に呼びかけるため、ライトアップや認知症に関するブックフェア、映画上映会などを行った。

### 2 実施内容

#### (1) 認知症月間PR動画及び「認知症にやさしいまち北九州ロゴ」の作成

- ・市長や認知症関係団体の出演する認知症月間PR動画を市内各所で放映
- ・「認知症にやさしいまち北九州」の象徴となるロゴの作成

#### ア 認知症月間PR動画

URL:<https://www.youtube.com/watch?v=jkGNsDz1-Nw>



- ・放映先 認知症ブックフェア開催協力書店(7店舗)に小型モニター(7台)設置、小倉駅9面マルチビジョン、区役所コミュニティビジョン、市民センター(28か所)、上映会 イベント内、市ホームページ 等



小倉駅9面マルチビジョン



上津役市民センター



喜久屋書店

イ ロゴ

認知症に  
やさしいまち  
北九州市

認知症にやさしいまち北九州市

### (2) 小倉城等ライトアップ

- ・ 9月21日「認知症の日」にあわせ、市内各所を認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のライトアップを実施。

今年度より小倉城に「認知症月間」の文字を投影。

【実施場所】小倉城、鷗外橋、小倉駅新幹線口ハイポール、モノレール平和通駅駅舎下及び黒崎駅前ペDESTリアンデッキ



小倉城



鷗外橋

### (3) 北九州市認知症ブックフェア

- ・ 市内協力書店（15か所）、大学図書館（11か所）、市立図書館（16か所）、市民センター（100か所）にて、認知症に関する書籍やリーフレットからなる特設ブースを設置。



喜久屋書店



九州歯科大学附属図書館

#### (4) 認知症にやさしい図書館～認知症の人と家族の支援～」

・市内の図書館にて、認知症の人と家族の支援をテーマにした講座を実施

開催日時 令和6年9月8日(日) 14時00分～16時00分  
会場 北九州市立八幡図書館（八幡東区尾倉2丁目6-1）  
内容 ◎認知症の人と家族の支援  
◎家族支援の本の紹介  
◎ブックカフェ（高校生による本の紹介、読み聞かせなど）  
参加人数 22名

開催日時 令和6年9月13日(金) 10時00分～12時00分  
会場 北九州市立門司図書館（門司区老松町3番3号）  
内容 ◎認知症の人と家族の支援  
◎本から学ぶ認知症の人と暮らす工夫  
◎地域包括支援センターの紹介  
参加人数 8名

#### (5) 認知症介護技法講演会

・認知症の方や高齢者のケアに有効な介護技法を学ぶ講演会を開催

日時 令和6年9月24日(火)10時00分～11時40分  
会場 総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂  
内容 ユマニチュード®について学ぶ  
参加人数 118名  
【会場】64名  
【オンライン】54名(地域包括支援センター職員)  
講師 安武 澄夫氏  
(ユマニチュード®認定チーフインストラクター、  
南福岡脳神経外科病院リハビリテーション部副部長)



## (6) 認知症月間映画上映会

・認知症当事者とその家族、主治医による対談と若年性認知症を題材にした上映会を開催

日時 令和6年9月29日(日)13時30分～16時00分  
会場 J:COM北九州芸術劇場 中劇場  
内容 第1部:本人トーク  
第2部:映画「オレンジ・ランプ」上映  
第3部:ビデオレター  
(「オレンジ・ランプ」モデル、丹野智文氏)  
参加人数 331名  
登壇者 沼田 賢一郎氏(認知症ご本人)  
沼田 真由美氏(認知症ご本人の家族)  
小野 隆生氏(主治医:たつのおとしごクリニック院長)



## (7) 認知症カフェ交流会

・市内に開設する認知症カフェ間の交流を目的とした交流会を開催

日時 令和6年9月9日(月) 13時30分～15時30分  
会場 総合保健福祉センター(アシスト21) 2階講堂  
内容 (1)認知症カフェモデレーター研修報告  
(2)認知症カフェ活動報告  
(3)グループディスカッション  
(4)全体交流会  
参加人数 40名  
発表者 池ノ上 浩美氏(本城御開認知症予防カフェ「ねこの手」)  
田代 久美枝氏(カフェ・オレンジ)



(8) 市政だより(9月1号)認知症特集

・認知症月間に合わせ、認知症特集記事を市政だよりに掲載。



(参考) オレンジフラワープロジェクト

・認知症月間に合わせた、地域での自発的な活動。認知症の啓発を目的に、地域の花壇に認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせた。

会 場 小倉北区富野校区、小倉南区東朽網校区、若松区高須地区、八幡西区上津役校区



小倉南区東朽網校区



八幡西区上津役校区

## 令和6年度「若年性認知症支援者向け研修」

### 1 目的

若年性認知症についての正しい理解を促進し、若年性認知症の人が適切な施策を利用できるよう、支援者を対象とした、若年性認知症の方の特性の捉え、支援の仕方を学ぶ。

### 2 事業内容

#### (1) 内容

- ア) 講話 若年性認知症の基礎知識と支援について (60分)  
質疑応答 (30分)

講師 産業医科大学病院認知症センター部長  
池ノ内 篤子氏

- イ) 個別相談 (希望者のみ 30分)

医師及び精神福祉士が対応

#### (2) 日時・場所等

令和7年2月18日(火) 15時00分～17時00分  
総合保健福祉センター(アシスト21)2階講堂  
(小倉北区馬借一丁目7-1)

会場100名、オンライン100名(ハイブリッド形式)

後日申込者にアーカイブ配信

#### (3) 対象者

企業の労務担当者、産業医、産業保健師、行政職員、若年性認知症支援に関わる方など

#### (4) 広報・申込

12月下旬から関係機関等に周知、市政だより(令和7年1月15日号予定)等により広報

要事前申込み(電子申請等)

## 頭と体のいきいきトレーニング教室

### 1 目的

市民が身近な地域で自主的かつ継続的に介護予防活動に取り組むきっかけづくりを目的に、フレイルや認知機能低下の予防に効果的な、運動、学習、創作活動等総合的なプログラムメニューによる教室を開催する。

### 2 事業内容

- (1) 対象者 65歳以上の市民
- (2) 実施場所 各区1カ所 計7ヶ所  
各教室定員25名
- (3) 実施回数 1ヶ所につき全8回、1回120分
- (4) 実施内容（詳細は次ページの通り）
  - 講話（高血圧・介護予防・ヒアリングフレイル）
  - ICT活用講座
  - 脳トレ（学習編・運動編）
  - 創作活動（カレンダーづくり）
  - グループワーク（興味・関心の発掘）
  - 認知症サポーター養成講座
  - ホームプログラムの提供（脳トレ問題・運動）

### 3 教室申込の状況（人）

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
申込数	34	33	30	39	19	56	40	251
倍率	1.4	1.3	1.2	1.6	0.8	2.2	1.6	1.4

## 実施内容

1 回 目	講話	教室の目的、正しい血圧の測り方
	学習	脳トレ問題
	運動	きたきゅう体操
	グループ	自己紹介ゲーム、コグニサイズ
	ホームページ提供	脳トレ問題
2 回 目	講話	介護予防、ヒアリングフレイル、生活習慣病予防
	ICT活用	オンライン通いの場アプリ等の操作体験
	運動	きたきゅう体操、ブレパサイズ
	ホームページ提供	通いの場アプリの使用など
3 回 目	講話	興味関心発掘プログラムの目的
	学習	興味関心チェックシートの記入
	運動	きたきゅう体操、安全体操、ブレパサイズ
	ホームページ提供	安全体操の実施、脳トレ問題
4 回 目	グループ	興味・関心発掘プログラム
	運動	ながら体操
	ホームページ提供	脳トレ問題
5 回 目	講話	認知症サポーター養成講座
	運動	ながら体操、安全体操、ブレパサイズ、きたきゅう体操
	ホームページ提供	脳トレ問題
6 回 目	創作活動	カレンダーづくり
	運動	きたきゅう体操、ブレパサイズ
	ホームページ提供	カレンダーの記入
7 回 目	グループ	興味関心発掘プログラム
	創作活動	カレンダーづくり
	運動	きたきゅう体操、ながら体操、安全体操、ブレパサイズ
	ホームページ提供	カレンダーの素材の準備
8 回 目	創作活動	カレンダーづくり
	グループ	
	運動	きたきゅう体操、ながら体操、安全体操、ブレパサイズ